



KWANSEI GAKUIN
UNIVERSITY

Integrated Center for UN and Foreign Affairs Studies

1-155 Uegahara Ichiban-Cho, Nishinomiya, Hyogo 662-8501 JAPAN

Homepage <http://gap.kwansei.ac.jp/unfa/>

Email unfa@kwansei.ac.jp

宣誓書

関西学院大学は人権、労働基準、環境、腐敗防止に関するグローバル・コンパクト(GC)の 10 の原則を支持することを確認いたします。

私どもは、本学の影響力の及ぶ範囲内でできる限り、GCの10原則を促進していく所存でございます。また、GC およびその 10 原則を弊団体の戦略、文化および日々の業務の一部にしていくことと、持続可能な開発のための 2030 アジェンダ(SDGs)達成のための取り組み等を推進することを約束します。また、このような私どもの GC に対するコミットメントをステークホルダーおよび公に対して明言いたします。

なお、会員として得られた他社・団体に関する情報を第三者に漏洩しないことをお約束します。

2020年1月17日

関西学院大学
学長
村田 治

村田 治

関西学院大学における国連グローバル・コンパクトに関する取組について

1. 国連グローバル・コンパクトの10原則に関する取組

(1)SDGs 推進本部の設置（原則1～10）

本学は国連が掲げた持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献するため、2019年4月にSDGs推進本部を設置しました。「関西学院大学SDGs宣言」を採択し、この理念を具現化するための施策の実施について、同推進本部が中心となって教育、研究、経営部門と緊密に連携しつつ進めています。

この取り組みはグローバル・コンパクトの10原則（人権・労働・環境・腐敗防止）とも連動しています。一例として、研究分野においては、教員の個々の研究領域を紹介する研究者データベース上で、SDGsの17の目標のうちどのゴールに貢献するかを可視化しました。また、同目標からテーマを設定するソーシャルビジネスプランコンテスト「Hult Prize」予選を本学で実施するなど、人権や環境といった地球規模課題への意識啓発を行っています。教育、経営部門でも今後この取組みを推進していきます。

（サイトリンク）<https://kgc2039.jp/sdgs/>

【関西学院大学SDGs宣言（参考）】

1. 関西学院大学は、そのミッション「思いやりと高潔さをもって社会を変革することにより、スクールモットー“Mastery for Service”を体現する、創造的かつ有能な世界市民を育む」を実践しながら、「世界を変えるための17の目標」である「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けて、教育、研究、経営に代表される大学の営み全体を通じて貢献する。関西学院大学の学生、教員、職員、同窓は、一人ひとりの役割においてSDGsに貢献することを強く意識する。

2. 関西学院大学は、アジアで初めての国連ボランティア計画（UNV）との協定に基づいた学生の途上国への派遣、日本で初めて国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）と連携した難民学生対象の入試制度の導入や、高大接続から大学院教育までを通貫した「国際機関へのゲートウェイ」構築に取り組む等、国連と連携した教育プログラムについては日本をリードしてきた大学である。これらの教育プログラムの継続・発展により、SDGsの推進をリードする人材育成にいつそう邁進していく。

3. 関西学院大学は、SDGs推進においても「国際性豊かな学術交流の母港 “Global Academic Port”」となることをめざし、国際機関や協定大学、そして地域社会との協働を積極的に展開する。

(2)ダイバーシティ推進事業の実施（原則6）

本学は、社会の男女共同参画の実現に率先して主体的役割を果たしていくことを目的として、2012年に男女共同参画宣言、および関西大学・同志社大学・立命館大学との4大学共同宣言を採択しました。この宣言に基づき2013年度4月に学院に男女共同参画推進本部を設置しました。

2014年度より3年間は、神戸大学、関西学院大学、兵庫県立大学の3大学での女性研究者研究活動支援事業（連携型）が文科省補助事業に採択され、女性研究者の上位職への登用の推進、産学共同研究の促進や女子学生および女性研究者のキャリアパスの拡大に積極的に取り組みました。また、ライフイベントを理由にキャリアを中断することなく、能力を最大限発揮できるよう、就業（就学）と子育ての両立支援として、これまで女性研究者研究活動支援者制度（ピンチヒッター制度）や祝日授業実施日の一時託児などの制度を充実させてきました。

この流れを受け、2018年4月には、仕事や学業に専念できる環境整備により教育研究の質を高め、社会貢献を果たすことを目的に、内閣府による企業主導型保育事業の保育施設として「関西学院内保育施設ぼぶら保育園」を開園しました。さらに、2019年4月からは同本部をダイバーシティ推進本部へと改組しました。教育・研究機関として、次世代を担う人材育成を行うとともに、人的リソースを大いに活用し、誰もが輝けるダイバーシティ社会を世の中に提案していくことを目的としています。

（サイトリンク）<https://www.kwansei.ac.jp/gender/>

(3) 「くるみん」への認定（原則6）

本学は2019年7月16日付けで、兵庫労働局より「くるみん認定」を受けました。2015年4月に施行された次世代育成支援対策推進法に基づき、各企業で策定した行動計画を達成し、一定の基準を満たした企業は、「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定（くるみん認定）を受けることができます。本学では、第3期行動計画（2014年4月1日～2019年3月31日）に定めた取り組みと目標達成が認められたことで、くるみん認定を受けました。近畿地方の学校法人として初めての認定となります。

本学では、教職員の職業生活と家庭生活の両立支援を推進し、その能力を十分に発揮できる働きやすい雇用環境を整備するために、2005年～2019年現在にわたり、4期の行動計画を策定し、その目標の実現に取り組んできました。引き続き、現在進行している第4期行動計画（2019年4月1日～）に基づき、環境整備・目標実現に努めています。

(4) 人権問題研修会の開催（原則1、原則2）

本学では、1948年に国連で採択された世界人権宣言の精神に基づき、1995年4月に人権教育研究室を設置し、人権教育・研究活動の整備を行ってきました。「人権」の立場からあらゆる差別の問題の解消を目指して、研究誌『関西学院大学 人権研究』や『KG人権ブックレット』の発行、定例研究会の開催および人権教育科目の開講や、毎年春学期と秋学期に開催される人権問題講演会や人権問題についての啓発プログラムの企画を行っています。

2018年1月～2019年12月の間に開催した人権問題講演会は以下のとおりです。本講演会の開催により、参加した本学教職員および学生の人権意識を高めると共に、共生・多様性への理解を涵養しました。

【人権問題講演会】

■ 2018年度 春季開催

1. 日 時：2018年5月17日（木） 11時10分～12時40分
場 所：神戸三田キャンパス II号館101号教室
講 師：牧村 朝子 氏（タレント・文筆家）
題 目：なぜ性の用語はだいたい横文字なのか
～LGBTとかセクシュアルマイノリティとか
2. 日 時：2018年5月17日（木） 15時10分～16時40分
場 所：西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館「光の間」
講 師：牧村 朝子 氏（タレント・文筆家）
題 目：なぜ性の用語はだいたい横文字なのか
～LGBTとかセクシュアルマイノリティとか
3. 日 時：2018年6月25日（月） 15時10分～16時40分
場 所：西宮上ヶ原キャンパス B号館304号教室
講 師：友永 健吾 氏（公益財団法人住吉隣保事業推進協会常務理事）
題 目：部落問題とは何かー住吉地区の取り組みから見えてきたこと

■ 2018年度 秋季開催

1. 日 時：2018年11月14日（水） 15時10分～16時40分
場 所：西宮上ヶ原キャンパス メアリー・イザベラ・ランバスチャペル
講 師：松田 曜子 氏（長岡技術科学大学准教授）
題 目：終わっていない原発避難
2. 日 時：2018年11月15日（木） 11時10分～12時40分/15時10分～16時40分
場 所：神戸三田キャンパス II号館201号教室/西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館「光の間」
講 師：松田 曜子 氏（長岡技術科学大学准教授）
題 目：終わっていない原発避難

■ 2019年度 春季開催

1. 日 時：2019年5月17日（金）11時10分～12時40分
場 所：西宮上ヶ原キャンパス B号館204号教室
講 師：玉木 幸則 氏（社会福祉法人 西宮市社会福祉協議会職員、NHK Eテレ みんなの
ためのバリアフリー・バラエティ「バリバラ」にレギュラー出演中）
題 目：自分らしくいきる
～多様性を認めていく中から生まれるフルインクルージョン～
2. 日 時：2019年5月20日（月）13時30分～15時00分
場 所：神戸三田キャンパス II号館201号教室
講 師：玉木 幸則 氏（社会福祉法人 西宮市社会福祉協議会職員、NHK Eテレ みんなの
ためのバリアフリー・バラエティ「バリバラ」にレギュラー出演中）
題 目：自分らしくいきる
～多様性を認めていく中から生まれるフルインクルージョン～

■ 2019年度 秋季開催

1. 日 時：2019年11月14日（木）13時30分～15時00分
場 所：西宮上ヶ原キャンパス 大学図書館ホール
講 師：広瀬 浩二郎 氏（国立民族学博物館 グローバル現象研究部・准教授）
題 目：「未開の知」に触れるー2020 東京オリパラを迎える前に
2. 日 時：2019年11月27日（水）15時10分～16時40分
場 所：西宮上ヶ原キャンパス メアリー・イザベラ・ランバスチャペル
講 師：石塚 裕子 氏（大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター・特任講師）
題 目：原発事故後を共に生きる
3. 日 時：2019年11月28日（月）11時10分～12時40分
場 所：神戸三田キャンパス II号館102号教室
講 師：石塚 裕子 氏（大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター・特任講師）
題 目：原発事故後を共に生きる

2. 国連グローバル・コンパクトとその原則の推進活動

(1) 国連グローバル・コンパクト支援関西学院大学センターの活動および授業との連携

本学は2014年度に文部科学省スーパーグローバル大学創成支援事業に採択された「国際性豊かな学術交流の母港『グローバル・アカデミック・ポート』の構築」の一環として、「国連・国際機関へのゲートウェイ」構想を掲げ、2015年10月24日に「国連グローバル・コンパクト支援関西学院大学センター」を設置しました。本センターは、国連グローバル・コンパクト及び国連グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンのメンバーとして、ネットワークとの連携を強化し、その活動の展開を主に西日本において支援することを目的としています。

この一環として、2018年度および2019年度の副専攻大学院「国連・外交コース」および学部「国連・外交プログラム」の開講授業の中で、グローバル・コンパクトの人権・労働・環境・腐敗防止の各トピックについて学ぶ機会を提供しました。さらに同年度には、明石康元国連事務次長を塾長とした全国の高校生対象プログラム「関西学院世界市民明石塾」を開講し、一般社団法人 グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)によるSDGsカードゲームを通じて、環境・経済・社会の課題のつながりを学ぶ機会を提供しました。また、国連人道問題調整事務所(OCHA)の吉田明子所長をお招きして特別セッションを行い、国際的な人道支援状況下における人権保護などについてもお話いただきました。



(2) グローバル・コンパクトに関するトピックについての学びの機会提供

① UN Women × 関西学院大学 特別講演『SDGs 目標5を考える「あっ！こんなところにジェンダー課題」』を開催（2018年10月28日）

本学社会学部の卒業生である UN Women 日本事務所所長 石川雅恵（いしかわ かえ）氏をお招きし、「持続可能開発目標（SDGs）目標5とジェンダーの固定概念」をテーマにお話いただきました。女性のリーダーシップと政治参画、女性の経済的エンパワーメントなどの諸課題について UN Women の取組みが紹介され、日本がこの問題でどのように解決をリードできるか、等について意見交換がなされました。



②UNHCR×関西学院大学 特別セミナー「難民問題を考える」開催（2019年10月25日）

国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）のダーク・ヘベカー駐日代表をお招きし、前 UNHCR インド代表の清水康子教授（関西学院大学総合政策学部特別客員教授）とのジョイントでの特別セミナー「難民問題を考える」（“Special Seminar on Refugee Issues”）を開催しました。日本とインドにおける難民の現状と支援の在り方、および UNHCR の取組みについての講演の後、学生・一般の参加者との質疑応答では、難民支援や国際的な人権保護に対して個々人がどのように貢献できるかを話し合いました。



(3)「日中韓ラウンドテーブル」への学生派遣

本学は上記センターの活動の一環として、国連グローバル・コンパクト主催の「日中韓ラウンドテーブル」に本学学生を派遣しました。（2018年度韓国開催2名、2019年度中国開催2名）

この派遣により、本学学生が国連グローバル・コンパクトへの理解を深めると共に、各国の学生との意見交換を通して、CSRについて共に考え発信できるように涵養しています。今後も本プログラムへの派遣を通して、持続可能な社会作りに貢献できる学生を育てます。

以上